

## 長野圏域に「新型コロナウイルス特別警報 I」を発出します

令和3年3月18日

新型コロナウイルス感染症長野県対策本部

### 1 趣旨

長野圏域においては、3月15日に感染警戒レベルを3に引き上げ、「新型コロナウイルス警報」を発出したところですが、その後も陽性者の確認が相次いでおり、直近1週間（3月11日～17日）の新規陽性者は67人、人口10万人当たりでは12.68人となっています。

これは、県独自の感染警戒レベルにおいて、圏域をレベル4に引き上げる目安となる基準に該当し、また、集団発生や感染経路不明の事例などのリスクの高い事例が発生しており、「感染が拡大しつつあり、特に警戒が必要な状態」とであると認められます。

したがって、長野圏域の感染警戒レベルをレベル4に引き上げ、「新型コロナウイルス特別警報 I」を発出します。

### 2 県民及び事業者の皆様へのお願い

長野圏域にお住まいの皆様、訪問される皆様、事業者の皆様は、「年度末・年度始め（3/20～4/9）を迎えるに当たっての知事メッセージ」に沿った対応を徹底してください。

### 3 長野圏域における県の対策強化について

長野圏域におけるさらなる感染拡大を防ぐため、県として実施する感染症対策を次のとおり強化します。長野圏域にお住まいの皆様、訪問される皆様、事業者の皆様は、県の対策にご協力いただくようお願いいたします。

（なお、特措法の根拠規定を記載した取組以外は、長野県新型コロナウイルス感染症等対策条例（令和2年長野県条例第25号）第5条に基づく感染症対策として実施するものです。）

#### （県民の皆様へのお願い）

- ① 会食における基本的な感染防止策の徹底について協力を要請します
- ② 感染拡大予防ガイドラインを遵守していない酒類の提供を行う飲食店の利用を控えるよう協力を要請します

#### （事業者の皆様へのお願い）

- ③ 飲食店などにおける感染拡大予防ガイドラインの遵守について協力を要請します
- ④ オフィスや工場など職場での感染防止対策の徹底を働きかけます  
（積極的な検査等の実施）
- ⑤ 長野市と連携してさらなる積極的な検査とクラスター対策を実施します

#### ① 会食における基本的な感染防止策の徹底について協力を要請します（特措法第24条第9項）

会食については、信州版「“新たな会食”のすゝめ」の遵守をお願いしているところですが、長野圏域にお住まいの皆様は、会食を実施する必要がある場合は、改めて、万全の対策を行っていただくようお願いいたします。

**② 感染拡大予防ガイドラインを遵守していない酒類の提供を行う飲食店の利用を控えるよう協力を要請します** (特措法第 24 条第 9 項)

長野圏域にお住まいの皆様や訪問される皆様に、酒類の提供を行う飲食店を利用する場合は、店内における対人距離の確保、マスクの着用、施設の換気・消毒などの対策や「新型コロナ対策推進宣言」等の実施などを確認し、感染拡大予防ガイドラインを遵守していない店の利用を控えるよう協力を要請します。

**③ 飲食店などにおける感染拡大予防ガイドラインの遵守について協力を要請します** (特措法第 24 条第 9 項)

長野圏域の事業者の皆様、感染拡大予防ガイドラインの遵守を徹底するとともに、対策を講じていることを店頭及び店内に掲示してお客様に協力を呼びかけるよう要請します。

**④ オフィスや工場など職場での感染防止対策の徹底を働きかけます**

事業所における大規模な集団発生の事例が確認されています。感染拡大を抑止するとともに、こうした感染の発生に伴う事業活動への影響を避けるためにも、職場においては、手洗い・手指消毒の励行、マスクの着用、定期的な換気など基本的な感染防止策を徹底するよう、県から経済団体等を通じて事業者に対して強力的に働きかけを行います。

また、特に休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化によりマスクを外して会話するなど、感染リスクが高まるおそれがあるとされており、休憩室、喫煙所、更衣室においても感染防止に努めるよう、さらに、在宅勤務・テレワーク、時差出勤等を積極的に導入し、対応可能な場合は、職場に出ている職員数が通常より少なくなるよう、事業者を重ねて働きかけを行います。

**⑤ 長野市と連携してさらなる積極的な検査とクラスター対策を実施します**

保健所設置市である長野市と連携し、疫学調査に基づき、感染事例に係る濃厚接触者の把握と全員検査に加え、集団発生の事例に係る従業員やその家族などの接触者についても幅広く検査対象として積極的に検査を実施します。また、クラスター対策チーム (CCT-Nagano) を機動的に派遣します。

新型コロナウイルス感染症をきっかけとして差別や誹謗中傷が生まれ、苦しんでいる人がいます。また、誹謗中傷をおそれるあまりに受診をためらうことは、重症化のリスクを高めるほか、さらなる感染の拡大を招きかねません。

県民お一人おひとりが「思いやり」の心を持ち「支えあい」の輪を広げ、みんなで乗り越えていきましょう。

県では、市町村等と連携してまん延防止のための対策や医療提供体制及び検査体制の充実を一層推進するとともに、県民の皆様への働きかけを徹底してまいります。

県民皆で力を合わせこの難局を乗り越えていきましょう。

# 県内感染事例

## 【注意事項】

- ・新型コロナウイルス感染症は、無症状感染があるなど、目に見えないという特徴があります。
- ・どこで感染したかを一つだけに絞ることは極めて困難です。また、一つに絞ることで、他の感染防止策がおろそかになってしまうという弊害が生じます。
- ・感染拡大は、様々な環境、状況、行為の重なりで生じるため、それぞれの場面に応じて、「接触」と「飛沫」と「空気(換気)」に注意する必要があります。
- ・以下の感染拡大事例を参考に、お一人おひとりで、またご家庭や職場、地域でそれぞれ考え、実践いただき、長野県内の感染リスクを低減させましょう！
- ・ここで紹介する事例は、実際の事例を元に作成してあります。

2021年2月

長野県健康福祉部・新型コロナウイルス感染症長野県対策本部広報チーム





# 県内における感染事例 1 / 4 【職場】

熱心さゆえに長時間、密接して、大声になってしまう場合があります。  
その一方で、緊張から解放された時に感染防止策を忘れてしまうケースもあります。

## 商談

社内の数人で感染拡大地域に出張  
長時間に渡る商談の後、会食した。  
出張した人の内、複数人が発症。  
その後、他の同僚、家族に感染。



マスクをしていたが、換気がされていなかった。途中で茶菓子を飲食しながら。  
会食では、マスクをはずす機会が多く、  
熱心に話した。

## 体調不良・休憩時

数日前から体調が悪いのに出勤  
した人がいた。複数の同僚に感染。  
その後家族にも感染。



執務中はマスクをしていますが、社員が  
同僚と共に昼食をとる際や休憩時の  
喫煙などでは、マスクをはずして、  
会話する機会が多い。



# 県内における感染事例 2 / 4 【施設内】

限られた空間内で密接な日常生活が行われているので、感染防止対策がなされていても、一旦、感染源がすり抜けて侵入すると、感染が広がる可能性があります。

## 介護施設

高齢者の介護施設で、職員と入所者の集団感染が発生。



家族ではない人々が限られた空間の中で日常生活(食事、レク、おやつ、入浴等)。

職員による身体介護が頻繁にある。  
皆が同時にマスクをはずす機会が多い。

口すすぎのコップや食器などを共用。  
手すり等、複数の人が触れる箇所が多い。

## 医療機関の病棟

医療機関の病棟で、入院患者と医療従事者の集団感染が発生。  
医療従事者の家族にも感染。



複数人の大部屋で、一つの洗面所を共用。  
食事時にカーテンをしていなかった。  
マスクの着用や手指衛生の徹底が難しい患者がいる。



# 県内における感染事例 3 / 4 【会食】

楽しいがゆえに、大人数であるがゆえに、マスクをせずに密着し、大声になってしまいます。  
夜の飲食店街では、利用客や従業員の往来で感染が広がりやすい環境が形成されることがあります。

## 大人数での会食

参加者のうち、半数を超える人が感染。遠方からの親戚や県内の親族が複数感染。



普段会うことのない遠方の親戚のほか、近隣の知人・友人が参加し、大いに会話が盛り上がった。

マスクを外した会食が長時間続いた。箸、皿、グラスを共用。換気もおろそか。

## 夜のコミュニティ・はしご酒

飲食店の密集地で複数の人が感染。利用者だけでなく、飲食店従事者、利用者と従業員の家族にも感染。



常連客が連日、同じ複数店を訪問。

従業員は同地域の複数店に掛け持ちで勤務。勤務後は自分もお客として往来。複数店が事実上のコミュニティを形成。



# 県内における感染事例 4 / 4 【県外からの来訪】

他県(感染拡大地域を含む)など様々な地域から、就労のために訪れ、寮で共同生活。  
海外を含む様々な地域から訪れた人々の中や周辺で、感染が広がったケースもあります。

## 職場の寮

社員が共同生活を行う会社の寮で集団感染が発生。寮生のほか、同社の職場内で他の従業員が感染。



食事やトイレ、入浴等が常に一緒。  
職場も生活も同じ空間・モノ・時間を共有しており感染が広がりやすい環境。

## 帰省

感染拡大地域で暮らす家族が、数日前に微熱があったものの帰省。帰省後に本人の感染が判明すると共に、同居家族や地元友人も感染。



帰省前に体調や行動歴を注意していなかった。  
室内でマスクをしていなかった。  
家族や友人と会食やドライブを共にした。